

「令和7年度学校評価」自己評価

項目	番号	評価の観点	評 定					平均
			4	3	2	1	無回答	
学校経営	1	学校教育目標の達成を目指す教育課程の在り方の検討等、学校運営協議会と連携して取り組んでいる。	10	42	3	0	0	3.13
	2	各学部、分掌部における取組の重点を中心とした業務推進がなされている。	16	39	0	0	0	3.29
	3	教材研究や授業（指導）反省、指導担当者間での話し合いの時間が確保されている。	13	30	12	0	0	3.02
	4	各学部、分掌部の業務内容や量に偏りがなく、適切に設定されている。	1	31	21	2	0	2.56
	5	各学部や分掌部間の情報共有や連携が図られ、組織的な業務が行われている。	4	42	9	0	0	2.91
	6	学校予算は、教育活動の必要性、緊急性、優先度に基づいて、効果的かつ計画的に執行されている。	7	41	6	1	0	2.98
教育課程、学習指導	7	教育課程の評価の実施と結果に基づき、「皆」で考え「皆」で語る教育の創造ができています。	5	41	9	0	0	2.93
	8	授業時数、日課、週時程表は児童生徒の実態に応じたものになっている。	14	39	2	0	0	3.22
	9	道徳教育の全体計画を踏まえ、児童生徒の障がいの状態や発達段階に応じた道徳教育を推進している。	2	48	4	1	0	2.93
	10	体育・健康に関する指導は、児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行っている。	9	45	1	0	0	3.15
	11	児童生徒一人一人の障がいに基づく種々の困難の改善に向けた自立活動を進めている。	11	40	4	0	0	3.13
	12	学部のつながりや系統的な教育課程の実現に向けて、他学部の授業参観に取り組んでいる。	11	35	9	0	0	3.04
	13	教育内容の質の向上に向けた学習評価の改善・充実を進めている。	8	42	4	1	0	3.04
	14	教育内容と学校周辺の地域資源を組み合わせ、有効に活用した教育を行っている。	8	42	5	0	0	3.05
	15	暗黙知から形式知へ向け、根拠を基に日々の授業を分析する校内研修に取り組んでいる。	10	36	9	0	0	3.02
進路指導、生徒指導	16	「分かる」「楽しい」授業の提供や、担当者を孤立させない生徒指導を組織的に行うなど、いじめの未然防止や早期対応ができています。	18	35	2	0	0	3.29
	17	児童生徒の人格を重んじた適切な言葉遣いや態度、身だしなみで関わっている。	16	38	1	0	0	3.27
	18	卒業後の生活を見据えた指導を行うとともに、保護者に進路や福祉制度について分かりやすく伝えている。	13	40	2	0	0	3.20
研修、組織	19	知的障がいや自閉症等の障がい特性について理解し、適切な指導を行っている。	15	38	2	0	0	3.24
	20	知的障がいの各教科や自立活動の目標、指導内容等を理解し、系統性や順序性を踏まえて指導している。	11	41	3	0	0	3.15
	21	自らの経験年数や専門性に応じた資質能力を高めるため、主体的に研修に取り組んでいる。	6	47	1	1	0	3.05
	22	各部署の長を中心とした課題への対応や管理職への報告・連絡・相談等、組織としての適切な動きができています。	15	39	1	0	0	3.25
	23	困ったときや分からないことを、気軽に相談し合える環境や体制が整っている。	24	28	3	0	0	3.38
	24	児童生徒の手本となるように、ふさわしい言動、身なり、服務規律の遵守を常に意識して行動している。	18	36	1	0	0	3.31
危機管理	25	児童生徒の個人情報流出防止等に意識を向け、適切な管理と行動をしている。	29	26	0	0	0	3.53
	26	危機管理意識をもち、緊急時に備えた訓練を行い、児童生徒の安全を確保する行動を取ることができる。	22	31	2	0	0	3.36
	27	児童生徒の熱中症やアレルギーへの対応等、健康管理や安全管理を組織的にしている。	31	23	1	0	0	3.55
理解啓発、連携	28	懇談等を通して、学園職員や保護者に児童生徒の目標、指導内容・方法を分かりやすく説明している。	21	34	0	0	0	3.38
	29	学校の教育活動について、保護者や地域に知ってもらう取組や伝える工夫をしている。	9	45	1	0	0	3.15
	30	教育相談や地域の学校等への支援等に取り組み、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。	8	41	6	0	0	3.04